



第25回大会・学習会をみなさんの参加で成功させましょう

8月1日(土)は、第25回の定期大会が開かれます。栄養職員部では、「1校1名の配置署名」を中心に、豊かな学校給食の実現と食育の充実のため様々なとりくみをすすめています。

大会では、全国から仲間が集まり、「栄養教諭への任用替え」がすすみにくい状況や広がる「学校給食の民間委託化」「中学校給食の実施」をめぐってなど、組合でのとりくみや悩み・喜び・課題も出しながら討論を深めています。新しい仲間の紹介や粘り強いたたかひの成果に元気をもらったり、感動が広がる場ともなっています。

この1年間の運動や取組を総括し、来年度の方針をみんなで決めて、大会を大きく成功させましょう!
 代議員の出席をお願いします。傍聴の方の参加も大歓迎です。

第25回定期大会について

開催地：大阪

- 日 時 2015年8月1日(土) 13:00~16:30
- 会 場 たかつガーデン「ローズ」
- 代議員数 昨年同様です

| 組合数 | 代議員数 | 組合数 | 代議員数 |
|-------------|------|-------------|------|
| 1人~20人 | 2人 | 91人~199人 | 10人 |
| 21人~30人 | 3人 | 200人~299人 | 13人 |
| 31人~40人 | 4人 | 300人~399人 | 16人 |
| 41人~50人 | 5人 | 以下同様に3名ずつ加算 | |
| 以下同様に1名ずつ加算 | | | |

※参加については、代議員が確保できるように今から調整をよろしくお願いします。
 代議員を上回る場合は、傍聴としても参加できます。(傍聴の場合、旅費は全教で負担することはできません。)

☆交流会

日 時 2015年8月1日(土) 18:30~20:30

会 場 薬膳中華料理「桃谷楼」

大阪市阿倍野区阿倍野筋1-1-43あべのハルカス近鉄本店タワー館13階

TEL 06-6625-2373

交 通 JR・地下鉄天王寺下車すぐ

会 費 8000円予定

担 当 大教組

☆宿泊場所・・・「ダイワロイネットホテル大阪上本町」

夏期学習会のお知らせ

○日時 2015年8月2日(日) 9:30~16:30 (受付9:10~)
○会場 たかつガーデン「カトレア」

午前 <実践報告>9:30~11:30

- ①「中学生が喜ぶ できたて給食」 大阪 林 恵子さん
 - ②「センターの食教育実践」 東京 田中 律子さん
- 質疑応答

グループトーク&ランチタイム 11:30~13:30

グループに分かれて話しながらお昼を食べます。

例えば、給食センター、特別支援学校、中学校給食、世界の味、試食会、乾物料理 等 希望で

午後 13:30~16:30

<実践講座>13:30~16:00

「すぐに役立つ実践講座~秋から楽しく使える教材や掲示物を作ります!~」

教材の使い方を聞いた後、グループに分かれみんなで一緒に作ります。

京都の堀井先生の新作も紹介されますよ。秋からすぐに使える教材満載!

☆「はさみ」や「のり」も用意しますが、持ってきてくださると作業が早いです。

「茹でる」と「蒸す」の違いが一目瞭然の掲示物は授業にも使えます。

茹でる

蒸す

まほうのたべかた

たべかた

毎月掲示物の簡単な作り方教えます。

野菜が苦手なけんちゃんもおまじないの力で・・・

授業などで使える紙芝居をたくさん紹介します。

堀井先生の新作1年生に教える「主食・主菜・副菜・牛乳」のグッズ

<まとめの会>16:10~16:30

※毎年恒例の**おすすめレシピ**をご持参ください。

今年のテーマは「乾物料理」「世界の料理」「試食会」の3本です。

その日に使われたおたより等も添えてあるとうれしいです。

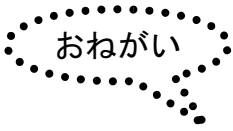
一食分の献立の組み合わせも教えてください。組織名も忘れずに明記してください。

大会受付で集めます。(印刷して80部ご持参ください。)

※初心者向けの**おすすめ指導案**もあればご持参ください。

大会受付で集めます。(印刷して80部ご持参ください。)

※当日は**お弁当**(実費)を用意します。グループトークがあるので、持参できない方は予め申し込んでください。



1校1名の学校栄養職員・栄養教諭の配置を求める署名は 6月26日（金）の文科省交渉に持参します。

現在集約されている分を6月20日までに全教に届けてくださるようお願いします。

文科省交渉で要請します！

文部科学大臣様

2015年6月26日

全日本教職員組合
中央執行委員長 蟹澤 昭三
栄養職員部長 猪瀬 里美

安全で豊かな学校給食の実現と

1校1名の学校栄養職員・栄養教諭の配置を求める要請書

記

1. 児童・生徒の食物アレルギーの実態把握をし、学校現場で個別対応が実施できるようにすること。さらに教職員への理解を深める研修を強化すること。必要に応じて学校の施設・設備の改善や、人員の配置、保存・検食費等の予算化を行うこと。「食物アレルギー対応 指針」配布後の検証を行うこと。
2. 放射性物質に汚染された食材が学校給食に使用されないことがないよう、安全性の確保をすること。そのために、学校給食食材の放射性物質の基準については、成長期に配慮した独自基準を設定し、検査体制(検査機器の設備、人材の配置、検査用食材費の補助、事前検査を原則とする)を確立するための予算を増額すること。
3. 安全で豊かな学校給食の実現と給食を通じた食教育の充実のため、教職員定数改善計画に1画に1校1名の学校栄養職員または栄養教諭の配置計画を策定すること。当面、配置基準の対象人数を550人以上から300人以上の学校とし、基準に達しない場合は4校に1人となっている基準を見直し、2校に1人の配置にすること。共同調理上についても、同様に対象人数を大幅に引き下げること。(寄宿舍併設の特別支援学校には複数配置にすること。)
4. 栄養教諭制度については、以下の事項を実現されること。
 - (1) すべての都道府県で、免許取得後は、希望する全ての学校栄養職員が栄養教諭になれるよう、都道府県に引き続き強く働きかけること。さらに、認定講習会については、特に専門の2単位について希望する学校栄養職員が受講できるよう国の責任で措置され、関係する大学に認定講習会の開催を働きかけること。
 - (2) 職務内容については、学校給食の管理とその給食を通じた食に関する指導とを一体化したものとなるよう、各都道府県に指導すること。
 - (3) 栄養教諭の発令にあたっては、兼務を前提としないよう都道府県に働きかけること。
 - (4) 免許更新が円滑にすすむよう都道府県に働きかけること。
5. 中学校において校外委託弁当方式等ではなく、小学校同様に自校方式による完全給食の実施がすすむよう働きかけること。
6. 学校給食用の米・牛乳の補助金を復活し制度化するよう、関係機関に働きかけること。さらに、学校給食の無償化に向けて、補助金の増額など検討をすすめること。
7. 学校給食における地産地消を一層推進するため、生産・供給体制を整備されるよう関係各方面に働きかけること。TPPへ参加せず、食糧自給率を向上させること。また、地産地消推進のための補助金制度等を検討すること。
8. 給食の安全性や質の低下を招きかねない学校給食の合理化が進まないよう、いわゆる「合理化通知」を撤回し、すべての学校で完全な自校直営の学校給食が実施できるようにすること。



“仲間の輪”リレー Vol.6

～各県から全国へ！先輩から後輩へ！～
魅力ある学びあいの活動の輪を広げ、子どもたちの豊かな育ちにつなげましょう！

記事の詳しい内容についてのお問い合わせ → 全教栄養職員部担当 中村尚史

あらゆる機会に積極的に勧誘！！

今年度、京教組栄養職員部は38回総会を開催します。育休や全員の栄養教諭への任用替えなどを強く訴えて実現してきました。若い人たちには、総会後の学習会や京都教研、地域の学習会などに積極的に参加を呼びかけ、その交流の中で組合活動を知らせて組合の仲間を増やしていきたいと思っています。



「はじめの一步」

京都市では、年度初めに新採や若い人を対象に学習会を行い、先輩からすぐに役立つ指導の話を聞いたり、おたよりや資料を持ち寄ったりしています。



「総会後の学習会」

午前中に京教組の総会を開催し、午後は末組の人も誘って、先輩からの貴重な話を聞いたり、教材作りをしたりしながら交流を深める時間を持ちます。



夜は新加入の方を迎えて歓迎会もしました。



「京都教研」

「食教育と学校給食」の分科会でレポートを持ち寄り、実践や課題を交流しました。ベテランの栄養教諭だけでなく、若い栄養教諭の取組のレポートや今年は幼稚園の先生から幼稚園での食の指導の取組も聞きました。



この他、「京都新歓」では、栄養教員部も歓迎講座の1つを担当し、すぐに使える食の指導資料「かみごたえ表」を作成しながら、いろいろな悩みを聞きたい交流したいしました。

“食の営みがかからだをつくる・心をつくる”をテーマに！

「より豊かな学校給食をめざす京都集会」も第34回を開催することができました。今年は講師に東京医科歯科大学名誉教授の藤田紘一郎先生をお迎えし、「腸内革命一腸は第二の脳ですー」と題した講演は、とても楽しくわかりやすいと好評でした。午後は分科会でよりよい学校給食の実現を求めて活発な討論を行いました。また、「連絡会」では自治労連や地域、保護者の方などつながり、いろいろな取組を行っています。今年も2回の学習会を行いました。



常任委員会の活動

年8回ほどですが拡大常任委員会とし、できるだけ支部交流に勤め、府教委への申し入れや要望書の内容検討、教研の取組や情報交流等を行いました。